

オーストラリア・インドネシア等へゆず加工品を輸出(高知県)(30年度)



インドネシア展示会



輸出用ゆず皮スライス



ジャカルタ小売店で陳列



オーストラリア展示会

【概況】

- ◆ (株)岡林農園は、ゆず果汁、ゆずジャム等のゆず加工品を、商社を通して間接輸出している。輸出先は1位オーストラリア、2位インドネシア。
- ◆ 近隣の耕作放棄地を活用した自社栽培の拡大や、周辺農家との契約栽培及び栽培指導によって原料を集めつつ、地域の活性化に貢献。
- ◆ 商品の使い方を現地シェフに広げることで、まずは富裕層への浸透を図り、順々に販売層を拡大。現地の嗜好性に合わせた販売方法により、業務用から小売りへと裾野を広げている。

【工夫している点】

- ◆ 商品への理解を深めてもらうため、海外のシェフの視察を受け入れている。
- ◆ コストに見合う価格帯となるよう、相場感を示してから価格交渉に挑んでいる。
- ◆ 自社柑橘搾汁施設を持ち、地域の生産圃場から出荷、加工場まで一連のシステムで、トレーサビリティが確保された品質の高い製品を年間を通して供給。

岡林農園Webサイト: <http://buntan-ok.com/>

【輸出実績】

輸出先: 1位 オーストラリア、2位 インドネシア 等

輸出品目: ゆず加工品

輸出額: 1,300万円(平成27年)、2,000万円(平成28年)、
3,100万円(平成29年)

【輸出による効果】

- ◆ ゆずを認知するインバウンドの需要により、東京のレストラン等での扱いが増え、国内売上げが増加。

【今後の展望・課題】

- ◆ ゆず青果(原料)の不足による機会損失の回避を図るための原料供給体制の整備や、国外を対象とした営業体制を整備し、輸出拡大につなげる。